

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和3年度 文化・教養専門課程 (日本語学科2年課程)														
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	1	前期	専門	○			総合日本語ⅠA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○			
	1	後期	専門	○			総合日本語ⅠB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○			
日本語の総合的な運用能力を習得する	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	後期	専門	○			総合日本語ⅡB	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
	2	前期	専門	○			聴解ⅡA	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			聴解ⅡB	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門	○			読解ⅡA	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	後期	専門	○			読解ⅡB	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
	2	前期	専門			○	作文ⅡA	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	後期	専門			○	作文ⅡB	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
	2	前期	専門			○	会話ⅡA	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○			
	2	後期	専門			○	会話ⅡB	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○			
	日本語学習サポート	1	前期	専門			○	初級作文ⅠA	総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を向上させる。	30	2	○		
		1	後期	専門			○	初級作文ⅠB	総合日本語ⅠBと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を向上させる。	30	2	○		
1		前期	専門			○	漢字トレーニングⅠA	基礎漢字600字をマスターする。	30	2	○			
1		後期	専門			○	漢字トレーニングⅠB	基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○			
2		前期	専門			○	能力試験対策ⅡA	能力試験対策に特化した授業	30	2	○			
2		後期	専門			○	能力試験対策ⅡB	能力試験対策に特化した授業	30	2	○			
2		前期	専門			○	漢字トレーニングⅡA	中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○			
基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	前期	専門			○	日本事情ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○			
生活に適應できる日本語能力を養成する	1	前期	専門			○	生活日本語ⅠA	日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	60	4	○			
	1	後期	専門			○	生活日本語ⅠB	日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	60	4	○			
進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門			○	実践日本語ⅡA	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○			
	2	後期	専門			○	実践日本語ⅡB	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○			
合計								24 科目	1680 単位時間	(112 単位)				
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
卒業要件：1600時間履修 必修科目を取得していること								1 学年の学期区分		2 期				
								1 学期の授業期間		15 週				

科目名	総合日本語 I A					学期	前 期
担当教員	林 宏美 鍛冶田芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
単位数	20						
学習目的	初級レベルの日本語能力を身につける						
授業内容	日本語初級の会話、文法を学ぶ						
学習目標	初級の文法、表現を使って会話ができるようになる						
使用テキスト	みんなの日本語初級 I・II、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
4	ひらがな、カタカナ、生活会話、みんなの日本語初級 I 第1課～4課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
5	みんなの日本語初級 I 第5課～7課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
6	みんなの日本語初級 I 第8課～10課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
7	みんなの日本語初級 I 第11課～13課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
8	みんなの日本語初級 I 第14課～15課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
9	みんなの日本語初級 I 第16課～17課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
10	みんなの日本語初級 I 第18課～20課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
11	みんなの日本語初級 I 第21課～22課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
12	みんなの日本語初級 I 第23課～24課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
13	みんなの日本語初級 I 第25課、みんなの日本語初級 II 第26課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
14	みんなの日本語初級 II 第27課～28課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
15	みんなの日本語初級 II 第29課～30課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
16	みんなの日本語初級 II 第31課～32課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
17	みんなの日本語初級 II 第33課～34課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
18	みんなの日本語初級 II 第35課～36課				【事前】	単語	
					【事後】	ドリル	
	評価項目/割合				評 価 内 容		
評価基準	1. 課 題	30 %	提出状況、完成度、丁寧さ				
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度(参加度、積極性)、忘れ物の有無				
	3. テストその1	40 %	定期テストの結果				
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験						

科目名	総合日本語 I B						学期	後 期	
担当教員	林 宏美 鍛冶田芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	20
学習目的	初級レベルの日本語能力を身につける								
授業内容	日本語初級の会話、文法を学ぶ								
学習目標	初級の文法、表現を使って会話ができるようになる								
使用テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク、はじめよう日本語初級Ⅰ・Ⅱ、ドリルと文法								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
4	みんなの日本語初級Ⅱ 第37課～38課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
5	みんなの日本語初級Ⅱ 第39課～40課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
6	みんなの日本語初級Ⅱ 第41課～42課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
7	みんなの日本語初級Ⅱ 第43課～44課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
8	みんなの日本語初級Ⅱ 第45課～46課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
9	みんなの日本語初級Ⅱ 第47課～48課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
10	みんなの日本語初級Ⅱ 第49課～50課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
11	はじめよう日本語初級Ⅰ 第7課～8課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
12	はじめよう日本語初級Ⅰ 第9課～10課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
13	はじめよう日本語初級Ⅰ 第11課～12課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
14	はじめよう日本語初級Ⅱ 第13課～14課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
15	はじめよう日本語初級Ⅱ 第15課～16課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
16	はじめよう日本語初級Ⅱ 第17課～18課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
17	はじめよう日本語初級Ⅱ 第19課～20課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
18	はじめよう日本語初級Ⅱ 第21課～22課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
	評価項目/割合					評 価 内 容			
評価基準	1. 課題	30 %	提出状況、完成度、丁寧さ						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度(参加度、積極性)、忘れ物の有無						
	3. テストその1	40 %	定期テストの結果						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	初級作文 I A					学期	前 期
担当教員	石崎美恵子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択
単位数						単位数	2
学習目的	既習の語彙や文型を使用し身近なテーマについて、学習者が自らが、全体構成や記述内容を工夫した作文を書く技能を身						
授業内容	構成をフローチャート、モデル文により理解し、学習者同士の話し合いを通して、イメージを明確にし意欲的にテーマに沿つ						
学習目標	既習の語彙や文型を的確に使用し、テーマに即した構成や内容を工夫した400字程度の作文を書くことができる。						
使用テキスト	みんなの作文(総合日本語のテキスト「みんなの日本語」に準拠したテキスト)						
週数	授業計画					事前・事後の学習	
4	作文を書くための基礎として、日本語の文字構成である五十音を知り、平仮名や片仮名の正確な表記(書き順や形)を理解し、練習をする。	【事前】	「みんなの日本語」の巻頭にある五十音を読む。				
		【事後】	平仮名、片仮名プリントを反復練習し正しい表記で書				
5	ユニット1 テーマ「自己紹介」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(省略;同じ言葉の羅列をしない)を理解し書く。	【事前】	ユニット1のモデル文を読み、自己紹介の内容を理解				
		【事後】	全体の構成を考え自身の「自己紹介」文の内容をメ				
6	ユニット1 「作文メモ」を用い、ペアワークやグループワークで読み合い検討する。作文メモを基に「自己紹介」作文を書く。	【事前】	「作文メモ」を書く。				
		【事後】	自分の似顔絵を描いたり写真を貼ったりして教室に掲示し互いの交流の				
7	ユニット2 テーマ「わたしの部屋」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(語彙の連鎖;語彙をつなげまとまりある文にする)を理解する。	【事前】	ユニット2のモデル文を読み、作文の材料を決めてお				
		【事後】	構成や文法項目を踏まえ「私の部屋」の作文の概略				
8	ユニット2 「作文メモ」を用い、部屋にあるいくつかの物を関連付けて記述する。ペアで読み合い、相手の部屋のイメージが描けか、検討し合う。作文メモを基に「私の部屋」の作文を書く。	【事前】	「作文メモ」に沿って記し、作文の内容を明確にする。				
		【事後】	グループ内で口頭発表を聞き合い、他の作文のよさについて伝				
9	ユニット3 テーマ「私の国・町」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(取り立ての『は』;多くの項目から1つに焦点化する)を理解する。	【事前】	自分の国や町の地図上の位置、首都の様子、人口等を調べてお				
		【事後】	構成や文法項目を踏まえ「私の国・町」の作文の概略を書				
10	ユニット3 「作文メモ」を用い、国や町について記述したい項目にメモをしグループで確認し合う。作文メモを基に「私の国・町」について作文を書く。	【事前】	「作文メモ」に沿って記し、作文の内容を明確にする。				
		【事後】	地図や写真を貼り教室に掲示したり発表をしたりして互いの国や町を紹				
11	ユニット3 テーマ「私の家族」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(2文を1文にする。『て形』や『な形容詞』を使用し接続する 等)を理解する。	【事前】	ユニット4のモデル文を読み、内容や全体構成に着目				
		【事後】	「私の家族」の作文の概略を書く。家族について描きたくないときは架空の家族としてみる				
12	ユニット4 「作文メモ」を用い、家族について記述したい項目にメモをしグループで確認し合う。作文メモを基に「私の国・町」について作文を書く。	【事前】	「作文メモ」に沿って記し、作文の内容を明確にする。				
		【事後】	教室内に掲示し紹介し合う。				
13	ユニット5 テーマ「週末」のフローチャート、モデル文を読み、作文の全体構成について考え理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(文脈指示。作文の具体的な場所の指示語を文脈に沿って正確に表現する)を理解する。	【事前】	ユニット5のモデル文を読み、内容や全体構成に着目				
		【事後】	構成や文法項目を踏まえ「週末」の作文の概略を書く。				
14	ユニット5 「作文メモ」や時間軸に沿ってしたことや思いについて、グループワークを行い、話し合いながら、自分の作文の概略を考える。作文メモや話し合いを基に「週末」についての作文を書く。	【事前】	週末にすることを想起し時間軸に沿って、作文の概略を考				
		【事後】	イラスト等で週末の様子をより明確にし、グループ内での互いに紹介し合				
15	ユニット6 テーマ「はがき」のフローチャートでは、3段階の展開で応用して書くことを理解する。(旅先で出すはがき、お礼状、友達への近況報告)「手紙の形式と表現」を用い、手紙の宛名の書き方、及び関連語彙(追伸、～を同封します等)について理解する。	【事前】	ユニット6のモデル文を読み、内容や全体構成に着目				
		【事後】	手紙の宛名の書き方や内容の概略を書く。				
16	ユニット6 テーマ「はがき」の書き方に沿って、実際にはがきを書く。	【事前】	手紙の形式と表現を確認する。				
		【事後】	グループ内で読み合い、互いの手紙のよさを伝え合				
17	ユニット7 「プレゼント」のフローチャート、モデル文を読み、作文の構成を理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(『～に～があります』や『～は～です』の叙述の仕方等)を理解する。「作文メモ」や話し合いを通して、テーマ「旅行」についての書く。	【事前】	今までにもらったプレゼントの中で心に残るプレゼントを想起する				
		【事後】	グループ内で発表しプレゼントをもらった時の驚きや喜びを紹介し				
18	ユニット8 「旅行」のフローチャート、モデル文を読み、作文の構成を理解する。「作文のポイント」を用い、文法項目(順序や手順を表す接続語等)を理解する。「作文メモ」や話し合いを通して、テーマ「旅行」についての書く。	【事前】	これまでの旅行から作文にしたい旅行先を想起する				
		【事後】	教室に掲示し互いの旅行先の楽しさを交流し合う。				
評価基準	評価項目/割合		評価内容				
	1. 課題	50%	記述内容の充実度、完成度、構成の一貫性や的確度 語彙や文法の正確度				
	2. 授業姿勢	30%	作文への集中度、個性的な表現や記述内容への意欲、提出状況				
	3. テストその1	20%	既習語彙や文法事項の適切な使用状況、漢字表記の有効且つ適切な活用				
目標検定・課外授業実施予定・その他	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
	日本語能力試験(7月、12月)						

科目名	初級作文 I B					学期	後	期	期	
担当教員	鍛治田芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	日本語でまとまりのある文、構成を意識した作文を書くスキルを身につける									
授業内容	モデル文を理解し、これを参考にしながら早い段階から、毎回一つのテーマについて作文を書く。									
学習目標	既習の語彙や文型を正しく使い、構成に注意して、あるテーマについて400字程度の作文が書けるようになること									
使用テキスト	やさしい作文									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	ユニット9 もし私が二人いたら					【事前】	ユニット9 もし私が二人いたら モデル文を読んでく			
						【事後】	「もし私が二人いたら」 作文			
1	ユニット10 趣味					【事前】	ユニット10 趣味 モデル文を読んでくる			
						【事後】	「趣味」 作文			
1	ユニット11 楽しい1日					【事前】	ユニット11 楽しい1日 モデル文を読んでくる			
						【事後】	「楽しい1日」 作文			
1	ユニット12 日本でびっくりしたこと					【事前】	ユニット12 日本でびっくりしたこと モデル文を読んでく			
						【事後】	「日本でびっくりした」 作文			
1	ユニット13 私の夢					【事前】	ユニット13 私の夢 モデル文を読んでくる			
						【事後】	「私の夢」 作文			
2	ユニット14 隣の人にひとこと					【事前】	ユニット14 隣の人にひとこと モデル文を読んでく			
						【事後】	「隣の人にひとこと」 作文			
2	ユニット16 ごみ 国との比較					【事前】	ユニット16 ごみ 国との比較 モデル文を読んでく			
						【事後】	「ごみ 国との比較」 作文			
2	ユニット17 交通 国との比較					【事前】	ユニット17 交通 国との比較 モデル文を読んでく			
						【事後】	「交通 国との比較」 作文			
2	ユニット18 スマートフォン					【事前】	ユニット18 スマートフォン モデル文を読んでくる			
						【事後】	ユニット18 スマートフォン			
2	年賀状					【事前】				
						【事後】	年賀状を書く			
3	ユニット19 私の周りの最近のニュース					【事前】	ユニット19 私の周りの最近のニュース モデル文を			
						【事後】	「私の周りの最近のニュース」 作文			
3	ユニット20 私の国の有名な人					【事前】	ユニット20 私の国の有名な人 モデル文を読んでく			
						【事後】	「私の国の有名な人」 作文			
3	テーマ作文					【事前】				
						【事後】	テーマ作文の下書き			
3	原稿用紙の使い方					【事前】	「テーマ作文」を見直してくる			
						【事後】	原稿用紙に「テーマ作文」を書いてくる			
3	テーマ作文の発表					【事前】	「テーマ作文」の発表の練習			
						【事後】				
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題 50 %		提出状況 完成度 ていねいさ							
	2. 授業姿勢 30 %		出席率 授業中の態度(参加度 積極性)							
	3. テストその他 20 %		発表の結果							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験 日本留学試験・記述									

科目名	漢字トレーニング I A					学期	前	期	
担当教員	鍛治田芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	基礎漢字をマスター、日本語の理解を促進する。								
授業内容	練習問題を中心に毎回ユニット一つの漢字を覚える。								
学習目標	基礎漢字の読み書きを覚える。								
使用テキスト	みんなの日本語 初級 I 漢字 英語版、ベトナム語版 みんなの日本語 初級 I 漢字練習帳								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ユニット1	【事前】	ユニット1の単語意味調べ			【事前】	ユニット1の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
1	ユニット2	【事前】	ユニット2の単語意味調べ			【事前】	ユニット2の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
1	ユニット3	【事前】	ユニット3の単語意味調べ			【事前】	ユニット3の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
1	ユニット4	【事前】	ユニット4の単語意味調べ			【事前】	ユニット4の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
1	ユニット5	【事前】	ユニット5の単語意味調べ			【事前】	ユニット5の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
2	ユニット6	【事前】	ユニット6の単語意味調べ			【事前】	ユニット6の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
2	ユニット7	【事前】	ユニット7の単語意味調べ			【事前】	ユニット7の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
2	ユニット8	【事前】	ユニット8の単語意味調べ			【事前】	ユニット8の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
2	ユニット9	【事前】	ユニット9の単語意味調べ			【事前】	ユニット9の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
2	ユニット10	【事前】	ユニット10の単語意味調べ			【事前】	ユニット10の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
3	ユニット11	【事前】	ユニット11の単語意味調べ			【事前】	ユニット11の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
3	ユニット12	【事前】	ユニット12の単語意味調べ			【事前】	ユニット12の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
3	ユニット13	【事前】	ユニット13の単語意味調べ			【事前】	ユニット13の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
3	ユニット14	【事前】	ユニット14の単語意味調べ			【事前】	ユニット14の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
3	ユニット15	【事前】	ユニット15の単語意味調べ			【事前】	ユニット15の単語意味調べ		
		【事後】	漢字練習帳 読み書き練習			【事後】	漢字練習帳 読み書き練習		
		評価項目/割合		評価内容					
評価基準	1. 課題	40%	課題の提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率、授業中の態度						
	3. テストその1	30%	確認テスト、復習テスト						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	漢字トレーニングⅠB					学期	後 期
担当教員	石崎美恵子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択
単位数						単位数	2
学習目的	基礎的な漢字やその使い方を言葉や文脈の中で、「読み」、「書き」、「使う」ことを通して、漢字能力や日本語の書き言葉に関する技能						
授業内容	日本語の表記システムや漢字の字形や意味的な特徴を知り、漢字の役割の理解を高めると共に、画数や書き順、形に留意し、練習帳を基に習得						
学習目標	進出漢字の漢字の「読み方」、「使い方」、「書き方」を理解し、段階的に漢字表記の仕方や文脈に沿った漢字の習得をする						
使用テキスト	みんなの日本語 初級Ⅰ 漢字ベトナム語版、みんなの日本語初級Ⅱ、みんなの日本語初級Ⅰ 漢字練習帳、みんなの日本語初級Ⅱ 漢字練習帳(総合日本語のテキスト「みんなの日本語						
週数	授業計画					事前・事後の学習	
4	ユニット16 の漢字「降 思 寝 終 言 知 動 同 漢 字 方」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味をもつ。	【事前】	ユニット16を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	漢字練習帳初級Ⅰ「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。				
5	ユニット17 の漢字「図 館 銀 町 住 度 服 着 音 楽 持」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味をもつ。	【事前】	ユニット17を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	漢字練習帳初級Ⅰ「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。				
6	ユニット18 の漢字「春 夏 秋 冬 道 堂 建 病 院 体 運 乗」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味をもつ。	【事前】	ユニット18を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	漢字練習帳初級Ⅰ「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。				
7	ユニット19 の漢字「家 内 族 兄 弟 奥 姉 妹 海 計」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、漢字の理解を深める。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット19を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	漢字練習帳初級Ⅰ「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。				
8	ユニット20 の漢字「部 屋 室 窓 開 閉 歌 意 味 天 考」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット20を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	漢字練習帳初級Ⅰ「読み練習」「書き練習」の反復練習をする。				
9	ユニット21 「初級Ⅰ 第2版 漢字」で学習した漢字の復習をする。字形に注意しながら学習する。 文の中に既習漢字が使用してある。文を書き漢字の意味の理解を高める	【事前】	ユニット21を読み既習漢字をノートに書く。				
		【事後】	ユニット21の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
10	ユニット22 「初級Ⅰ 第2版 漢字」で学習した漢字の復習をする。字形に注意しながら学習する。 文の中に既習漢字が使用してある。文を書き漢字の意味の理解を高める	【事前】	ユニット22を読み既習漢字をノートに書く。				
		【事後】	ユニット22の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
11	ユニット23 「みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版」で学習した語彙と関連した漢字の学習をする。既習漢字を別の語彙でも学習し漢字の理解を高める。	【事前】	ユニット23を読み既習漢字をノートに書く。				
		【事後】	ユニット23の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
12	ユニット24 の漢字「試 験 問 題 答 耳 用 始 研 究 台」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット24を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	ユニット24の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
13	ユニット25 の漢字「飯 場 正 世 界 急 特 県 低 弱 不」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット25を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	ユニット25の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
14	ユニット26 の漢字「議 駐 帽 横 市 役 所 拾 捨 運 遠 歳」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット26を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	ユニット26の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
15	ユニット27 の漢字「声 具 鳥 夢 波 末 座 走 登 修 願 階」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット27を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	ユニット27の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
16	ユニット28 の漢字「形 品 力 熱 心 経 景 色 眠 説 選 通」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット28を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	ユニット28の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
17	ユニット29 の漢字「番 号 袋 忘 落 汚 洗 付 覚 調 取 辺 側」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解する。さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット29を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	ユニット29の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
18	ユニット30 の漢字「皿 隅 机 引 箱 置 片 復 予 約 並 連 絡」 関連イラストや漢字を使った文で知り、1読み方Ⅱ書き方Ⅲ使い方を理解し、さらに、漢字博士のコーナーにより、文脈の中での理解を促進し、繰り返し読み、漢字への興味を高める。	【事前】	ユニット30を読み新出漢字について知る。				
		【事後】	ユニット30の漢字を使った文をノートに書き反復練習をする。				
評価基準	評価項目/割合		評価内容				
	1. 課題	40%	正確な読み 字形の識別力 字形を正確に書く力 言葉や文脈の中での読みや使う力 練習帳の提出状況や達成状況				
	2. 授業姿勢	30%	ノートの記述状況 講義への集中度 出席率				
	3. テストその1	30%	確認テストによる習得状況 学期末テストによる習得状況				
目標検定・課外授業実施予定・その他	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
	日本語能力試験(7月、12月)						

科目名	日本事情 I A					学期	前 期		
担当教員	旭 健志	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本に対する理解を深め、有意義な留学生活を送るための一助とする。								
授業内容	平均的な日本人像と日本の地理について学習する。								
学習目標	日本での生活に必要な知識や技能を理解し、ルールやマナーを守れるようになる。日本の現代社会に関するいくつかの項目について理解し、答え								
使用テキスト	日本総論 I								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
4	日本総論 I 1課 新しい生活	【事前】	1課を読んでくる						
		【事後】	1課の練習問題						
5	日本総論 I 2課 家の周り	【事前】	2課を読んでくる						
		【事後】	2課の練習問題						
6	日本総論 I 3課 安全管理	【事前】	3課を読んでくる						
		【事後】	3課の練習問題						
7	日本総論 I 4課 家	【事前】	4課を読んでくる						
		【事後】	4課の練習問題						
8	日本総論 I 5課 食事	【事前】	5課を読んでくる						
		【事後】	5課の練習問題						
9	復習 中間テスト	【事前】	1～5課の復習をしてくる						
		【事後】	出題内容の見直し						
10	日本総論 I 7課 日本の国土（国土、海流）	【事前】	7課を読んでくる						
		【事後】	7課の練習問題						
11	日本総論 I 7課 日本の国土（地方区分、主要都市）	【事前】	7課を読んでくる						
		【事後】	復習プリント						
12	日本総論 I 7課 日本の国土（気候、人口）	【事前】	7課を読んでくる						
		【事後】	プリントの見直し						
13	日本総論 I 8課 ライフサイクル（日本人の一年）	【事前】	自国の1年について言えるように準備						
		【事後】	復習プリント						
14	日本総論 I 8課 ライフサイクル（日本人の一生）	【事前】	自国の人の一生について言えるように準備						
		【事後】	復習プリント						
15	日本総論 I 9課 日本の文化	【事前】	日本独自の文化（芸能やスポーツ）について調べておく						
		【事後】	復習プリント						
16	復習	【事前】	前期で勉強したことを復習しておく						
		【事後】	復習プリント						
17	期末テスト	【事前】	テスト勉強						
		【事後】	テストでできなかった箇所を確認しておく						
18	テスト直し	【事前】	テストでできなかった箇所を確認しておく						
		【事後】	テストでできなかった箇所を確認しておく						
		評価項目/割合		評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	20 %	課題や各種書類の提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無						
	3. テストその他	50 %	学内外の各種行事や活動への参加状況						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	生活日本語 I A					学期	前	期	期
担当教員	熊木 あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。								
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。								
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	学校生活（学校の概要、学科規律、授業規律、報連相、クラス係仕事）					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
1	アパート生活（家賃、契約、マナー、そうじ）					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
1	アパート生活（ごみのルール）					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
1	公共生活（学割証、交通ルール）					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
1	在留カード、マイナンバー、健康保険証、年金手帳について					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
2	学校内探検					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
2	名前、住所、学校名の漢字・ふりがな練習					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
2	名前、住所、学校名の漢字・ふりがな練習					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
2	学生調査書 記入					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
2	銀行口座開設書類 練習					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
3	銀行口座開設書類 テスト・記入					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
3	国民年金学生納付特例					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
3	アルバイト説明会					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
3	アルバイトに関する注意					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
3	マネープラン、金銭管理					【事前】			
						【事後】	書類、ファイル提出		
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	50 %	課題や各種書類の提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	学内外の各種行事や活動への参加状況						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	生活日本語 I A					学期	前 期
担当教員	熊木 あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択
単位数	2						
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。						
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。						
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。						
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
4	成績評価について説明、能力試験について説明（希望者のみ受験）				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
5	生活指導、面談				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
6	生活指導、面談				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
7	生活指導、面談				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
8	生活指導、面談				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
9	日本語能力試験 模擬試験①				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
10	将来設計、目標設定				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
11	日本語能力試験 模擬試験②				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
12	将来設計、目標設定				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
13	アルバイト先調査				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
14	クラス活動				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
15	ホームステイについて				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
16	生活指導（健康保険料、所得との関係など）				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
17	夏休みの過ごし方について				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
18	地域貢献活動				【事前】		
					【事後】	書類、ファイル提出	
	評価項目/割合			評価内容			
評価基準	1. 課題	50 %	課題や各種書類の提出状況				
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無				
	3. テストその他	20 %	学内外の各種行事や活動への参加状況				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他							

科目名	生活日本語 I B					学期	後 期			
担当教員	熊木 あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。									
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。									
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。									
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）									
週数	授業計画				事前・事後の学習					
1	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
1	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
1	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
1	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
1	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
2	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
2	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
2	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
2	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
2	学園祭準備	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
3	学園祭ふりかえり	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
3	生活指導（防犯）	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
3	生活指導（健康管理）	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
3	生活指導（公共意識）	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
3	生活指導（金銭管理）	【事前】								
		【事後】	書類、ファイル提出							
		評価項目/割合			評 価 内 容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題や各種書類の提出状況							
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無							
	3. テストその他	20 %	学内外の各種行事や活動への参加状況							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	生活日本語 I B					学期	後 期		
担当教員	熊木 あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。								
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。								
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。								
使用テキスト	なし（適宜プリントなど）								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
4	日本語能力試験やその他のレベル認定試験について				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
5	能力試験の目標・計画				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
6	進学について				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
7	能力試験対策				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
8	能力試験対策				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
9	能力試験対策				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
10	日本語能力試験 模擬試験①				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
11	能力試験対策				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
12	日本語能力試験 模擬試験②				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
13	面談				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
14	面談				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
15	冬休みの過ごし方について				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
16	クラス活動				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
17	地域貢献活動				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
18	春休みの過ごし方について				【事前】				
					【事後】	書類、ファイル提出			
	評価項目/割合				評価内容				
評価基準	1. 課題 50 %				課題や各種書類の提出状況				
	2. 授業姿勢 30 %				出席率、授業中の態度、忘れ物の有無				
	3. テストその他 20 %				学内外の各種行事や活動への参加状況				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									